

運営継続が決まった「ありがとう福井」と社長に就いた木下さん(右)ら=1日、坂井市三国町三国東3丁目



廃業方針、坂井の就労事業所

障害者雇用守れた

経営難で廃業の方針だった坂井市の就労事業所が、福井市の企業に1日買収され、運営の継続が決まった。企業は生産管理が本業で収益改善に自信を示し、雇用されている障害者11人は引き続き働けることになった。就労事業所が廃業し障害者が大量解雇されるケースが全国で問題となる中、利用者からは「とにかくうれしい」と喜びの声が上がっている。(水口浩樹)

福井の企業が買収、運営継続

11人安ど「仕事で応える」

運営継続となったのは、就労継続支援A型事業所の「ありがとう福井」(坂井市三国町三国東3丁目)。工場内の生産管理のトータルサポートを手掛けるアセアンテクノロジ(福井市新田塚1丁目、中山浩行社長)が前の運営会社から全株式を取得し、完全子会社化した。

A型事業所は障害者と雇用契約を結び、最低賃金以上を支払って、軽作業などの職業訓練をする。ありがとう福井では現在、11人の障害者が働

就労事業所補助金支給要件が厳格化

4月から、賃金は収益で就労事業所に関しては、受け入れる障害者の人数に応じて受け取れる補助金の支給要件が4月から厳しくなり、障害者の賃金には原則として補助金を使わず、収益で賄うことになった。事業の健全化を指した措置で、事業所には

いており、サービス管理責任者ら2人の職員とともに、全員の雇用を引き継がれた。ありがとう福井は坂井市三国町で唯一のA型事業所だが、経営が厳しく、今春ごろ廃業の方針が固まっていた。ガス、化学など各種プラントの設計施工を手掛けるナカテック(坂井市春江町藤鷲塚)の関連会社のアセアン社が聞きつけ、買収に名乗りを上げた。交渉の末に1日、譲渡契約を結び、実行された。

アセアン社の木下寿志さんは買収の理由を「これまでに福祉施設に業務を委託した経験から、障害者の可能性を感じていたし、活躍するステップを増やしたいという思いがあった」と説明した。福井県内は有効求人倍率が全国1位で人手不足が問題となる中、同社が女性や高齢者を含め多

収益の確保が求められる。

一方で7月には岡山県や香川県で、事業所の廃業と障害者の大量解雇という事例があった。福井県障害福祉課によると、県内のA型事業所は8月末現在で68カ所あり、本年度に入ってから廃業はない。過去には年に数件の廃業があったが、その際は障害者の次の勤め先を確保するよう指導しているという。

様な人材の活用を目指していたことも後押しした。利用者の坂井市の50代女性は「廃業方針を聞いたときは、まさかと思った。その後、継続を知り、暗いトンネルに一筋の光が差した感じがした」と振り返った。「私たちも生活が懸かっており、とにかくうれしい。これからはさらに仕事で頑張り、応えていきたい」と意気込みを示した。

従来のがとう福井は衣料、食品関係の内職の仕事をしていたが、今後はアセアン社が部品メーカーから受注した検査業務などを担い、収益は大幅に改善する見込みだ。さらに生産管理のノウハウを生かし、一人一人の障害の程度をみながら作業マニュアルを整備し、生産性も向上させていく。

ありがとう福井の社長に就いた木下さんは「利用者の皆さんが社会から必要とされている喜びを実感し、高いモチベーションで働ける環境をつくっていききたい」と話した。

手錠つけて逃走 ベトナム人逮捕

群馬県警、埼玉で発見 群馬県大泉町で警察官が現

エンジン不具合 覚知し緊急着陸

群馬県警、埼玉で発見